

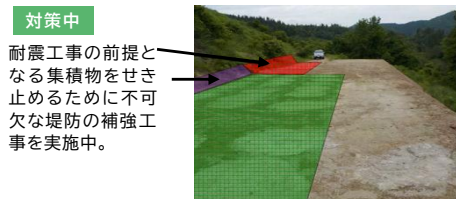
# 休廃止鉱山鉱害防止等工事に関する対策【経済産業省】

**施策概要** 休廃止鉱山の集積場の耐震化調査で耐震基準に不適合であった集積場の対策工事、早急に崩落対策すべき坑道の対策工事の実施

**効果** 休廃止鉱山からの重金属漏出による水質の汚濁、農用地の汚染等による健康被害、農作物被害等による国土の荒廃を防止

## 全国的な対策と効果

**対策1** 耐震化調査で耐震基準に不適合であった集積場の耐震化工事の実施（前倒しを計画していた4集積場について工事を継続中）



**対策2** 外部有識者による鉱害防止技術委員会にて早急に対策を講じるべきと指摘のあった坑道(1件)の対策工事の実施



## 5か年加速化対策の効果

休廃止鉱山の集積場や坑道の対策工事により、**重金属漏出による水質汚濁、農用地の汚染等による健康被害、農作物被害、漁業被害等の発生を防止する。**

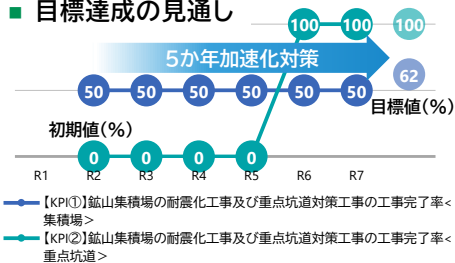


## 予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
1億円	10億円	-
R6	R7	累計
-	6億円	17億円

※ このほか、加速化・深化分以外の予算も措置されている

## 目標達成の見通し



## 整備事例

# 旧松尾鉱山の坑道を整備し、坑内水流出による水質汚染等を防止する



岩手県



岩手県八幡平市



休廃止鉱山鉱害防止等工事費補助事業

## 旧松尾鉱山の坑道整備



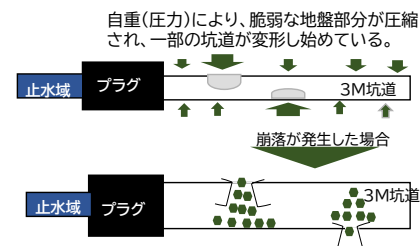
## 事業費

22億円(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)17億円の内数、自治体負担分を含む)

## 事業の背景(地域の課題)

旧松尾鉱山では、昭和45年に3M坑道内に閉塞プラグを設置していましたが、設置後50年以上が経過し、坑道内の盤膨れによる断面形状の変形等の経年変化が進行し、坑道崩落による坑内水の流出防止のための安全対策が課題となっていました。

※プラグ:坑水の流出をせき止めるための耐圧壁



## 事業の内容

旧松尾鉱山における坑道崩落による坑内水の流出を防止するため、空洞となっていた坑道を割栗石を敷き詰め、空隙にグラウト材を充填する工法(坑口から3mはコンクリート打設)で完全に埋戻しすることにより、大規模地震等が発生した場合においても坑道崩落を生じさせることがない恒久的な安全対策工事を実施しました。

## 見込まれる効果

大規模地震等の発生時に、坑道が崩落し、プラグから上部の坑道にたまっていた鉄分、硫黄、砒素を含んだ強酸性(pH1.5)の坑水(およそ350万㎡)及び18㎡/分の未処理水の川への流出による生活・農業・工業用水等の汚染を防ぎます。

人命財産の被害最小化

交通・ライフラインの維持

インフラの老朽化対策

国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進

災害関連情報の高度化